

2014年6月政情（内政・外交）

1. 内政

（1）国会議員への信任状授与

4日、選挙裁判所にて国会議員への信任状授与式が行われた。国会の全議席数は71名であるが、選挙後14名の議員の当選に対し異議申立てが提出されている他、数名の議員が所属する大選挙区においては当選が確定している他の議員を含めた再選挙が行われる可能性があり計20議席が未確定となっていた。このため、右授与式では当選の確定している51名の議員に対して信任状が授与される予定であったが、この内CD党議員全18名が欠席した。パナマ・アメリカ紙（CD党寄り）では、右授与式への欠席は今次選挙に当選した同党議員12名に対し異議申立てがなされている事に対する抗議を表明するものであると報じられた。その後、選挙裁判所より数件の異議申立てが却下され、結果的に24日までに60議席が確定し、内57名の議員が信任状を受け取った。

（2）選挙結果の正式発表

5日、選挙裁判所より5月4日に行われた総選挙の正式な結果発表が行われた。大統領選挙結果（開票率100%）は以下のとおり。（投票者数1,886,308人、投票率76.8%）

ア. パナメニスタ党バレーラ候補	(724,762票、39.1%)
イ. CD党アリアス候補	(581,828票、31.4%)
ウ. PRD党ナバーロ候補	(521,842票、28.1%)
エ. FAD党ロペス候補	(11,127票、0.6%)
オ. 無所属ホバネ候補	(10,805票、0.6%)
カ. 無所属ロドリゲス候補	(2,240票、0.1%)
キ. 無所属バローソ候補	(1,598票、0.1%)

3. 全閣僚発表

25日、バレーラ次期大統領はシェラトン・ホテルにて会見を行い、次期政権における全閣僚名を正式に発表した。次官に関しては公共事業次官、住宅次官（土地管理担当）、貿易産業次官（貿易交渉担当）を除く全次官が発表された。発表された全閣僚名は以下のとおり。

- ア. 大統領府大臣：アルバロ・アレマン（元外務次官）
- イ. 外務大臣：イサベル・サイン・マロ（次期副大統領）
- ウ. 内務大臣：ミルトン・エンリケス（民衆党党首）
- エ. 経済財務大臣：ドウルシディオ・デ・ラ・グアルディア（元経済財務次官）
- オ. 保健大臣：ハビエル・テリエンテス（医師）

- カ. 労働開発大臣：ルイス・エルネスト・カルレス（元労働開発次官）
- キ. 治安大臣：ロドルフォ・アギレラ（元内務次官及び元司法技術警察局局长）
- ク. 住宅大臣：マリオ・エチエレク（バレーラ次期大統領の選挙キャンペーン副担当、現在不動産会社経営）
- ケ. 教育大臣：マルセラ・パレデス（元パナマ工科大学学長）
- コ. 社会開発大臣：アルシビアデス・バスケス（パナメニスタ党議員）
- サ. 公共事業大臣：ラモン・アロセメナ（アメリカン・エンジニアリング・グループ社長）
- シ. 農牧開発大臣：ホルヘ・アランゴ（養豚業経営）
- ス. 貿易産業大臣：メリトン・アローチャ（元外務次官、元貿易産業次官、元内務次官）
- セ. 運河担当大臣：ロベルト・ロイ（留任）
- ソ. 環境庁長官：ミレイ・エンダラ・デ・エラス（環境庁の前身である持続可能な天然資源庁の元長官，日系パナマ人）（注：現在は環境庁であるが新政権発足後，省に格上げされ大臣職となる予定。）

（４）パナメニスタ党と PRD 党の閣外協力体制のための合意

30日、国会におけるパナメニスタ党と PRD 党の協力体制確立のための合意「パナマ第一（"Panama Primero"）」が成立した。これにより、1年目の国会議長をパナメニスタ党から、副議長2名を PRD 党からそれぞれ選出し、2・3年目に関しては PRD 党より議長及び副議長1名を、パナメニスタ党より副議長1名を選出する事が決定した。4・5年目に関しては今後の協議により決定する。また、国家的な重要事項に関して両党が協力することが取り決められた。具体的には、教育改革、地方分権化、治安計画、保健改革、上水道整備、環境庁の省への格上げ、先住民省の設置、透明性の確保、前政権が実施したメガプロジェクトの精査などがこれに含まれる。

2. 外交

（１）「ア」外相とタジャーニ欧州委員会副委員長兼運輸委員の会談

12日、「ア」外相は、「成長のための使節団」として EU 加盟国 11カ国の企業及び企業連合代表者と共に当国を訪問中の「タ」欧州委員会副委員長兼運輸委員と会談を行った。本会談においては EU 諸国におけるパナマの政治的・経済的重要性が強調され、2015年末の EU 大使館の設置の可能性についての話し合いがなされた。

（２）「ア」外相の SICA 外相会合出席

「ア」外相は、第43回 SICA 首脳会合に先立ち24～27日にドミニカ共和国で開催された SICA 外相会合に出席した。

(3) 「マ」大統領の第43回 SICA 首脳会合出席

「マ」大統領は、27日より開催された第43回 SICA 首脳会合に出席した。今次首脳会合への出席は「マ」大統領の同会合への最後の出席であったことから、「マ」大統領は各国大統領よりこの5年間の SICA への貢献をたたえる言葉を贈られた。これに対し「マ」大統領は、パナマが中米を構成する一員となっている事を嬉しく思っているとした上で、自身の功績はパナマの政治的・経済的成長に生かされるものであると発言した。またバレーラ次期大統領については、外相を務めた経験もあることから、新政権発足後 SICA における重要な役割を果たすであろう事を強調した。